

5 教科に関する調査では、どんな問題がでたのですか？

【小学校・国語】

3

丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた【文章の下書き】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。イ時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。オその他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあります。それでも、きちんとかたづければ、わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。

きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづければよいという考えもあるかもしれません。確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができますと思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

二 丸山さんは、——部の「そうじたん当の人などがかたづけければよい」と考える人を説得するために、【西田さんの話】を用いて【文章の下書き】の……部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましよう。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



西田さん

〈条件〉

- 「そうじたん当の人などがかたづけければよい」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。
- 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内で書くこと。

3の二は、「目的や意図に応じて理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように工夫する」思考・判断・表現を評価する問題です。小諸市の平均正答率は、全国と比べて 4.1 ポイント低く、無回答の児童が 10.6%いました。

（正答例）「しかし、遊具置き場のそうじは、かたづけで時間が足りなくなり、はきそうじやふきそうじに手が回らないことがあるそうです。たん当の人だけに任せると大変なので、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

（100 字）

誤答の類型は以下のようです。

- ・ 60 字以上、100 字以内で書いていない。
- ・ 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書いていない。
- ・ 反対する理由を書いていない。
- ・ 反対する理由を書いておらず、

【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書いていない。

（例：わたしは、そうじたん当の人だけがかたづけをすればよいという考えに反対です。そうじたん当の人にかたづけを任せるといいう考えはよくないです。）

また、無回答の理由を分析する必要もあります。問題の意図が読み取れない、問題を考えようとする意欲がもてないなど、児童に聞いてみる必要があります。

別の問いになりますが、【文章の下書き】の中の、傍線ウ「つみ重ね」を漢字で書く平均正答率は、全国より、10.4 ポイント低い結果で、無回答は 18.6%もいました。

機械的に繰り返して、漢字を練習していても、文の中で正しく使う力は養われません。多くの文や文章を読んだり、習った漢字を書いたりしながら覚えて、文や文章の中で間違いを恐れずに積極的に使うことが求められます。児童の興味や関心があることをたくさん書かせたいです。

3

ひよりさんたちは、10月の図書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。

そこで、ひよりさんたちは、5年生と6年生の189人にアンケート調査をしました。

(3) まず、読書が好きかどうかについてと、図書室で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に着目しました。

質問1 「読書が好きですか」	
はい	…… 171人
いいえ	…… 18人
質問2 「9月に図書室で5冊以上借りましたか」	
はい	…… 61人
いいえ	…… 128人



読書が好きな人は171人もいるのに、9月に図書室で5冊以上借りた人は61人しかいませんね。



読書が好きなのに、図書室で本をあまり借りなかった人は何人くらいいるのでしょうか。

2つの質問の結果について、下の表に整理直すことにしました。

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。

「114」は、表のどこにあてはまりますか。①から⑧までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【小学校・算数】

(1)、(2)は省略します。

(3)は、「データを二次元の表に分類整理することができるかをみる」知識・技能を評価する問題です。小諸市の平均正答率は、全国より6ポイント低く、16問の設問の中で最も差が大きかった問題です。

正答は、②です。

①、③と解答しているのは、「114」について、「横の項目」である「読書が好きですか」の「はい」の欄に入ることを捉えることはできているが、「縦の項目」である「9月に図書室で5冊以上借りましたか」の「いいえ」の欄に入ることを捉えることはできていません。

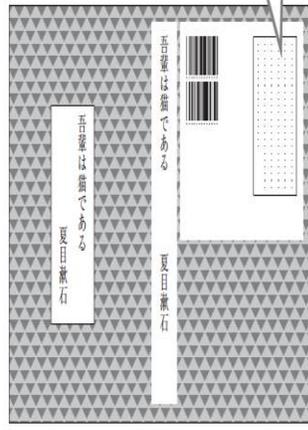
④、⑥、⑦と解答しているのは、「114」について、「横の項目」である「読書が好きですか」の「はい」の欄に入ることを捉えることができず、「縦の項目」である「9月に図書室で5冊以上借りましたか」の「いいえ」の欄に入ることを捉えることもできていません。

⑤、⑧と解答しているのは、「114」について、「縦の項目」である「9月に図書室で5冊以上借りましたか」の「いいえ」の欄に入ることを捉えることはできているが、「横の項目」である「読書が好きですか」の「はい」の欄に入ることを捉えることはできていません。

児童にとって、データを分類整理するという事は、難しいことであり、ましてや2つの項目になると頭の中が混乱してしまいます。大切なことは、表のどの部分に着目して読み取った数値なのかを表と関連付けて、自分の言葉(文章)で人に説明してみることだと考えます。

次は、夏目漱石の作品『吾輩』は猫である」の本のカバーに書かれている【紹介】と、【文章の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介】
中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



四 【紹介】に~~~~線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

Blank writing area for student responses, consisting of a large rectangular box with a dashed border.

【中学校・国語】

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題で、「国語への関心・意欲・態度」や「読む能力」を評価します。(正答例)・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることがわかる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

小諸市の平均正答率は、全国より6.5ポイント低く、無回答が22.5%いました。誤答例は、・「腕力と勇気とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」という部分から、吾輩は黒のことを認めながら接していることがわかり、よいと思う。・「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」とあるように、「吾輩」は「黒」のことを見下して接している。など、「吾輩」の接し方について、自分の考えを書いていない解答が多くありました。

また、引用した表現から登場人物の心情や行動について考えることができていなかったり、ものの見方や考え方が表れている部分を明確に文章の中から見つけることができていなかったりする解答もありました。

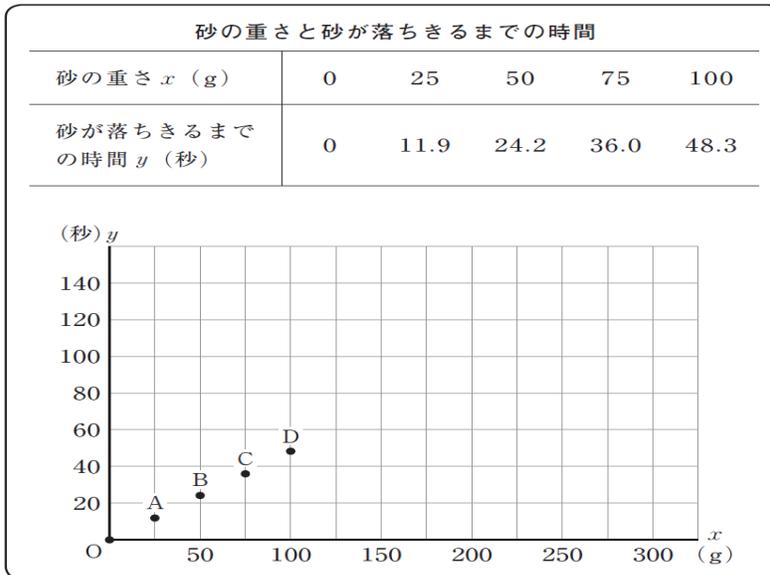
「自分の考えの形成」には、自分以外の他者のかかわりが大きいので、授業のグループ討議や親子の会話の場面で、「どうしてそう考えるの？」と問う場面を多く設け、その応えを最後までしっかり聞くことも大切です。

7 学級委員の健斗さんは、2分間スピーチの時間をはかるための砂時計をペットボトルで作ることにしました。その砂時計は、ペットボトルに砂を入れ、砂を通すための穴をあけた厚紙をペットボトルの間にはさんで作ります。

健斗さんは、ペットボトルに入れる砂の重さを決めると、砂が落ちきるまでの時間が決まると考えました。そこで、砂の重さが x g のときに、砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間を y 秒として調べ、その結果を、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



調べた結果



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 調べた結果のグラフにおいて、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点はどれですか。点Aから点Dまでの中から記号を1つ書きなさい。

(2) 健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。

【中学校・数学】

(1) は、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる、関数の知識・理解を評価する問題です。小諸市の平均正答率は、全国とほぼ同じでした。

(2) は、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できるかどうかをみる問題です。関数での、「数学的見方や考え方」を評価します。小諸市の平均正答率は、4.3ポイント低く、無回答は26.8%(全国24.7%)でした。

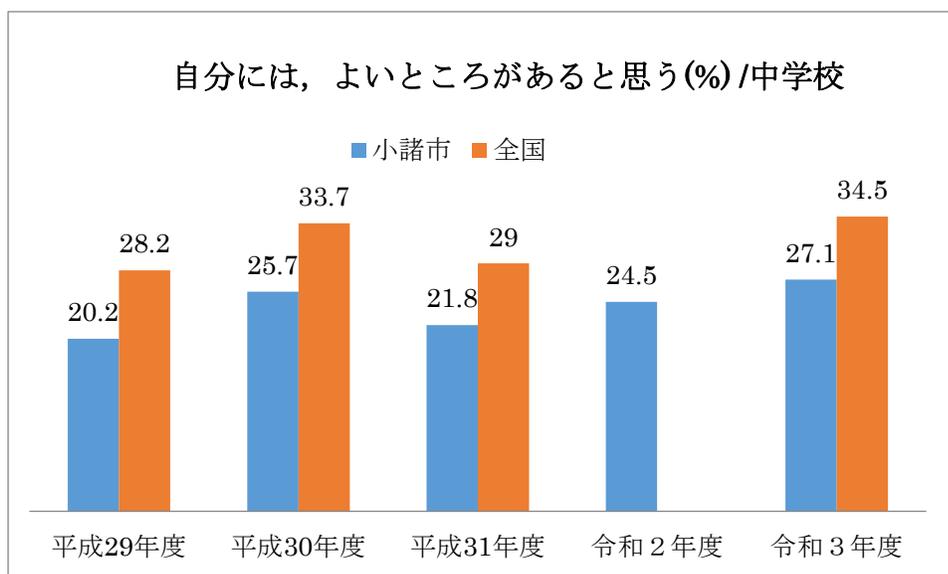
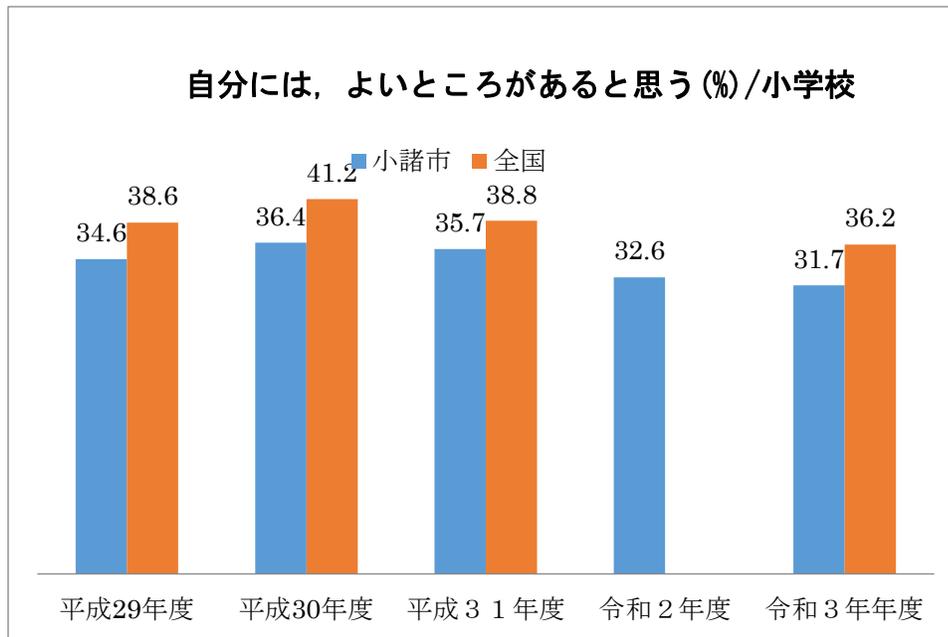
(正答例：以下の何れか一つで正答)

- 原点0を通る直線のグラフを書き、 $y=120$ のときの x 座標を読む。
- y を x の比例の式で表し、その式に $y=120$ を代入し、 x を求める。
- 表の数値を用いて比例定数を調べ、その比例定数で砂が落ちるまでの時間が120秒になる砂の重さを計算する。

「直線のグラフを書く」、「 y 座標が120の x 座標を読む、又は $y=120$ 」、「比例の式、一関数の式を求めて解く」、「表や数値を求めて解く」、「時間が120秒になる砂の重さを算出する」など、理解していても記述による説明が不十分な解答がありました。また、4分の1以上が無回答ということも課題です。

「数学的な見方や考え方」が育つには、学級の中でわかりやすく自分の考えを説明することが大切です。少人数のグループで、協力しながら問題を解決したり、自分の考えを振り返ったりすることで、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする力が養われます。前提に一人ひとりの考えが尊重されることが重要です。

6 質問紙調査で、どんな事がわかりましたか？



(1) 自己肯定感が育つ環境やかかわり方を一緒に考えていきましょう。

令和2年度の全国調査は中止になりました。小諸市独自の調査です。

4段階の選択肢で、「当てはまる」の割合を年度ごと小中別に表しています。

平成30年度の小学6年生は令和3年度の中学3年生ですが、減少率が全国の6.7ポイントに対して、小諸市では9.7も減少しています。前年度の学年では、10.1ポイントになっています。過去4年でも、全国平均を上回ったことはありません。

6年生から中学校3年生の時期は、思春期の真ただ中であり、人間形成の上でも大切な時期です。この時期にかけがえのない自分やそのよさに気づき、自己有用感をもって自分の道を歩んでほしいと願っています。家庭や地域の中でも、どう子どもに接すればよいのか考えてみましょう。

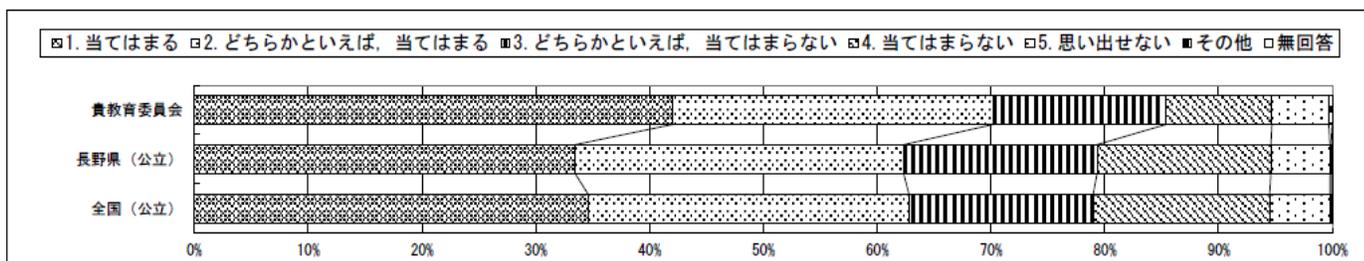
(2) ICT機器を使った授業が増えています。

コンピュータなどのICT機器を使って授業を行っている頻度は、「ほぼ毎日」「週1回以上」を合わせて、6年生22.6%、中学28.4%でした。

この調査は、5月末に行われました。小諸市で児童・生徒に一人一台のノートパソコンが使える環境が整ったのは3月でしたので、まだ十分に使いこなせていなかったことが予想されます。現在は使用頻度は増えていて、ICT機器を使った授業の効果も報告されています。また、ノートパソコンを家庭に持ち帰って、オンライン授業や家庭学習を行う学校も出てきました。学校では更に、効果的な使用方法を研究しています。これからも家庭でのパソコン使用の環境整備や管理、利用のルール作りなど、ご協力をいただきますのでよろしくお願いいたします。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大によって、子どもの不安やストレスが募っています。

質問番号	質問事項										
(64)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	42.1	28.2	15.2	9.3	5.0					0.3	0.0
長野県（公立）	33.5	28.9	17.0	15.3	5.2					0.1	0.1
全国（公立）	34.6	28.2	16.2	15.5	5.3					0.1	0.1



進路選択を直前に控えた中学3年生にとって、「勉強についての不安」が大変大きいことがわかります。小諸市では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計が70%を超え、全国の割合62.8%を上回っています。学校関係者の立場からすると、「学校での授業の大切さ」ひいては生徒の心に占める「学校そのものの大切さ」がうかがえる回答状況です。

コロナ禍にあっても、「子どもの学びの保障」を維持するとともに、子どもの不安を取り除く工夫をしていく必要があります。

小学6年生は、「当てはまる」25.5%（全国29.8%）、「どちらかといえば、当てはまる」34.0%（25.4%）、「どちらかといえば、当てはまらない」19.6%（16.1%）、「当てはまらない」15.5%（21.7%）、「思い出せない」4.7%（6.9%）、その他0.3%（0.0%）、無回答0.3%（0.1%）という回答状況でした。

（4）家庭で子どもと大いに話しましょう。

「あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか」本年度新しく加わった質問です。「1. いつも話している」「2. ほとんどいつも話している」「3. ときどき話す」「4. 全く話さない」「5. その他」の選択肢の中から答えます。質問の意図を確認したところ、家庭での会話の状況を聞いている質問で、あえて「日本語を話しますか」としたのは、「うん」「ああ」「うるさい」などの一方的な受け答えでなく、双方向の会話を想定しているようです。中学3年生、小学6年生ともに「1」「2」の割合が、95%以上でした。しかし、「3. ときどき話す」「4. 全く話さない」の中学生が2.3%（小年生3.1%）いるということがわかりました。上記の自己肯定感が育つ環境や子どもへのかかわり方を考える上でも、家庭での子どもとの会話を大切にしたいものです。

7 これからどんな取り組みをしていきますか？

小諸市教育委員会は、全国学力・学習状況調査の結果を受け、学校現場との連絡を密にとりながら2つの大きな柱を推進していきます。

○新型コロナウイルス感染防止対策と子どもの健やかな学びの保障の両立

感染症対策を講じながら、学校教育が協働的な学びの中で行われる特質をもつことを大切にし、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、最大限子どもたちの健やかな学びを保障します。

○新しい学習指導要領にもとづく、学習指導の改善・充実

生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の育成を目標とする新しい学習指導要領にもとづき、全ての先生が、学習指導の改善・充実に努めるための支援をします。

全国学力・学習状況調査の結果は年度によって多少の違いがあります。子どもたちの実態や状況に違いがあるからです。しかし、具体的に示された数値は真摯に受け止め、学校での授業改善や地域社会での子ども達への支援の在り方に生かしていきたいと考えています。

なお、形式は違いますが、各小・中学校からも学校ごとの結果をお知らせいたしますので、参考にしてください。